



## 令和8年度 富原小の教育 グランドデザイン

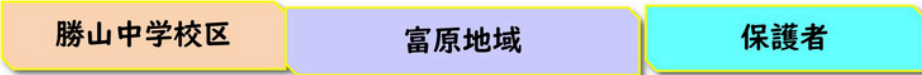
<p><b>めざす学校像</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子「楽しいことがいっぱい」の学校</li> <li>保護者「協力したくなる学校」</li> <li>地域の人「集いたくなる学校」</li> <li>教職員「働きたい学校」</li> <li>○ 伸びようとする子どもに伴走する学校</li> </ul>	<p><b>富原小学校の教育 グランドデザイン</b></p> <p>学校教育目標 自分大すき 友だち大すき 学校大すき 富原の子 ～夢をもち 自ら学び 共に進む 子どもの育成～</p> <p><b>めざす児童像</b> 楽しむ！考える！ やってみる！ いっしょに。</p> <p><b>研究スローガン</b> 学び合い・ 学ぶことを楽しむ</p>	<p><b>&lt;最上位ポイント&gt;</b></p> <p><b>【自信をもって】</b></p> <p>&lt;主体性&gt; &lt;表現する&gt; &lt;体力&gt;</p>
---	--	---

<p><b>豊かな心の育成 (やさしく)</b></p> <p>考える 関わる 一緒に</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・命・人権・人を大切にする姿</li> <li>・自ら関わりつなごうとする姿</li> <li>・自ら判断し、人を尊重している姿</li> <li>・のびのびと楽しむ姿</li> </ul>	<p><b>確かな学力の育成 (かしこく)</b></p> <p>課題発見 自分から</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聴き合い、話し合い、関わり合う姿</li> <li>・集中して取り組む姿</li> <li>・基礎基本を身に付け使っている姿</li> <li>・様々な人と学び合う姿</li> <li>・自ら学びを選択し自己を高める姿</li> </ul>	<p><b>健やかな心身の育成 (たくましく)</b></p> <p>運動を楽しむ 体力アップ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・粘り強く取り組む姿</li> <li>・積極的に運動に関わる姿</li> <li>・遊びや運動を楽しむ姿</li> <li>・自律的にメディア使用をしている姿</li> </ul>	<p><b>夢をもち地域とつながる力の育成 (ともにのびる)</b></p> <p>夢 富原を楽しむ 共に</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ふるさと富原」のよさを見つける姿</li> <li>・探究学習を自ら進めている姿</li> <li>・自ら交流する姿</li> <li>・あきらめず学びを表現している姿</li> </ul>
--	---	--	--

### 学校

- 【やさしく】他者とともに最適解を探り自己肯定感を育む安心できる居場所づくり
- 【かしこく】一人一人が主体的に学びに向かい、対話を軸に学び合う授業づくり
- 【たくましく】おもしろがって思いっきり遊びや運動に取り組むポジティブ思考の促進
- 【ともにのびる】地域とともに進める探究型郷育

### 地域



**教師のスタンス 「見取る」「たずねる」「価値付ける」**

### 令和8年度 学校経営について

「めざす学校像」について

少人数だからこそできる、一人ひとりに光を当てた教育をさらに進めていくため、私たちは「めざす学校像」を描いています。これには、学校に関わるすべての人々が、それぞれ主役として輝いてほしいという願いを込めています。

それぞれの視点から見た「私たちの理想の姿」を解説します。

★ 1. 子どもたちにとって：「楽しいことがいっぱい」の学校

学校は、学びを紡ぐ場所であると同時に、心が動く場所でなければなりません。「今日は何があるんだろう？」とわくわくして登校し、友達や先生と笑い合い、新しい発見に目を輝かせる。そんな日常の小さな「楽しい・できた」の積み重ねが、子どもたちの自己肯定感を育みます。

★ 2. 保護者の皆様にとって：「協力したくなる学校」

「預けて安心」なだけでなく、一歩踏み込んで「一緒にこの子たちの成長を支えたい」と思っていただけ関係をめざします。学校の様子がよく見え、対話があり、親子の会話が弾むきっかけになるような、開かれた信頼関係を築いてまいります。

### ★ 3. 地域の皆様にとって：「集いたくなる学校」

学校は地域の大切な拠点です。子どもたちの元気な声が響き、地域の皆様がふらっと立ち寄りたくなるような、温かな交流が生まれる場所でありたいと考えています。皆様の知恵や経験を子どもたちに繋いでいただいたり、共に笑いながら活動したりする場としての学校の扉を開いています。

### ★ 4. 教職員にとって：「働きたい学校」

子どもたちのために情熱をもって向き合うには、教職員自身がいきいきと働いていることが不可欠です。心の余裕と前向きな教育観をもち、互いに高め合い、支え合う職場環境を作り、より充実した教育の場が展開されるよう取り組みます。

### ★★ 伴走する学校：伸びようとする「芽」を支える

私たちは、今や子どもたちの前を歩いて引っ張るだけではありません。「伴走する学校」として、一人ひとりの歩みや関心、得意なことに合わせ、必要なときは手を差し伸べ、挑戦する時には背中を押す存在でありたいと考えています。

小規模校ならではの「のびのび・いきいき」とした環境を活かし、だれもが自分らしく、豊かな学校生活を送れるよう、教職員一同、全力で取り組んでまいります。

今後とも、皆様の温かい「伴走」をよろしくお願いいたします。

## 「富原を学ぶ」富原学習 その1

### 学校周辺の春を見つけて「額縁アート」づくり

五感を使うことは、学童期の学びには最も必要で最も楽しいことです。「やってみたい」「やってみよう」と思えなければ気付くことはできません。気候や土地の特徴によりその場所でしか生まれない環境に目を向けるチャンス学習につなぐことは、富原の子ども達にとって将来につながる「好奇心」「探求心」を育むことになると信じています。

富原小にある素晴らしい資源に子ども達は熱心にかかわり、自然の声と友達の声に聴き入りました。



## 「富原を学ぶ」富原学習 その2

### 「若代探検」で地域の春の様子を調べる

「なんでだろう」「あの時みたいだ」不思議だなあ、どうしてなんだろうと問いをもちながらかかわること、自分の経験やあるものとの比較をしながら考えることは、思考力を育み、学ぶ楽しさを湧きたてることとなります。

よく通る道やよく見る場所を、「なぜ」「いつ」「どうやって」「だれが」などと疑問を持ちながら若代を歩いていきました。子ども達の発見の目はすばらしく、たくさんの色や匂い、もっと知りたいことが出てきました。街で出会った人との話もついつい盛り上がりました。



### 「富原を学ぶ」富原学習 その3【富原の有名なところを探検】

5月1日に学校運営協議会委員の平内基広さんにナビゲートしていただいて、富原の特産、歴史などを探検しました。たくさんの地域の方々にもお世話になり多く学びました。次号でご紹介します。